

## 平成27年度志木市ふれあいミーティング 開催記録

- 1 日時 平成27年11月20日（金） 17時30分～19時
- 2 場所 しっきーズステーション
- 3 団体名 特定非営利法人志木総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ  
NPO法人クラブしっきーズ
- 4 参加者 22人



## 5 内 容

しっきーずの増田理事長が出演している「赤い羽根女子」の動画を一緒に鑑賞。テレビ埼玉でも、コマーシャルとして放送されていたと説明があった。

### (1) 参加者自己紹介

自己紹介と併せて、それぞれが参加する活動内容を紹介。

参加者は、小学6年生から若者、高齢者まで多世代に亘っていた。

- ・「明日備場」の活動…江戸時代からの言葉で、「明日に備える場」という意味。どなたでも参加できるコミュニティカフェとして、事務所を活用。道案内（「つばさ」と呼んでいる）やトイレの利用、ふらっと立ち寄っていただく場。  
一人暮らしの人や学校が終わった後の子どもたちが多く利用。
- ・うたのえき…カフェで歌ったり、うたのお届け（障がい者の通所施設、グループホームなど）もしている。  
療法的な視点を持ちながら、多世代とのコミュニケーションのツールとして活用。日本の美しい歌を唄ったり、体を動かしている。
- ・めざましモーニング（志木中）…6時半からラジオ体操など、目が覚めるような体操を実施。その他、めざましレクとして、桃太郎じゃんけんなど、お年寄りとお年寄りになって一緒に遊ぶ。介護予防となっている。
- ・宝幢寺モーニング…太極拳など実施。つながりの輪が広がった。
- ・アフタヌーン…月2回、学校の終了時間に合わせて、音楽とスポーツのレクリエーション。
- ・自然塾…野辺山、名栗川などへ親と子で体験。
- ・ナイトクラブ…月2回金曜日に志木三小の体育館で実施。  
内容は、体育館すべてを使ってどんな遊びができるか、みんなで決めている。
- ・サタデー…第三土曜日に志木三小の体育館で実施。体力が付くように、忍者隊やサーキット、障害物競争など。
- ・フライデーナイト…20歳代と一緒に遊び。
- ・東北自然塾…1泊2日で陸前高田市などへ。地域の復興支援者と一緒に活動。復興が進んでいる所とそうでない所との光と影を感じ、切ない気持ちになった。
- ・まなび場…幅広い世代と交流

◎これらの活動を通して、地域とのつながりや地域の中で生きていくということを感じることができるようになった。また、まちを知るきっかけともなった。幅広い世代と交流することにより、先輩は道しるべとして、子どもたちからは元気をもたらしている。共通の知人やつながりの輪が広がり、道で挨拶を交わす人が増えた。一人暮らしだが、おかげで週のうち2～3回出てくる場ができた。参加者の笑顔を見るのが楽しみ。悩みを聞くこともある。

## (2) 議 題

### ◎志木三小での放課後子ども教室の開催について

2年前、どこの学校にも教室をという構図があったと思うが、学校によって格差が生じている。

平成26年度に、志木三小の放課後子ども教室を他の団体と一緒に行ったが、今後はしっくいずの持ち味を生かし、独自でやっていくこととし、現在、志木三小で「アフタヌーン、サタデー、忍者隊」など放課後の子どもたちを対象とした事業を行っている。他団体への委託事業のみではなく、これらの事業も「放課後子ども教室」とみなすなど柔軟な対応はできないか。

□放課後の子どもの居場所を作ることが目的であるが、市内で「教室」のあるなしがバラバラであってはいけないと思っている。それぞれの地域にあった形で実施を考えるべきと思っている。

## (3) 意見交換・質疑応答

### 【しっくいずの事業の相談窓口について】

■行政に相談に行っても、対象者が多世代に亘る場合、一元的に相談にのってもらうことができなくて困っている。例えば、私たちは25年後を見据えて多世代を対象に市を考えようと思った時に、どの部署と話したらいいのか。

□行政としてNPOが何を求めているのか把握できていない。縦割り行政の弊害もある。一元化やNPO活動の位置づけから考えてみたときに、市民活動推進課がコーディネートの役割を担い、関係課との調整や情報の共有が図れるとよいのではないか。そのためにも、職員の意識を醸成していきたい。

### 【25年後を見据えた地区まちづくり会議】

- 地区まちづくりでは、25年後を見据えて、どこにいても今後のまちが見渡せるような同じ土台でいきたいと考える。
- 地域性もあり、地区ごとに課題を持ってやっていただいているところである。

### 【相談窓口について】

- 人生のことや共同墓地など相談が多岐にわたっている。これらの相談はどこにしたらいいのか。
- 市で作った「暮らしの便利帳」や広報を見ていただけるとおおよそのことが分かっていただけだと思う。市での各種相談については、何かあればいつでも足を運んでいただきたい。

### 【市長への手紙について】

- 市長への手紙はどのように処理されているのか。
- すべて目を通し、その案件ごとに関係する所属長へ回答等についての指示をしている。回答は、私が回答内容等を確認したうえで、市長として責任を持って差出人の方へ回答している。

### 【地域包括ケアシステムについて】

- 地域包括ケアシステムを構築し、地域支援コーディネーターがさまざまな相談などを受ける役割だと思っている。志木市ではケアシステムはどのような状態か。
- やらなくてはならないことだが、まだできていない。地域資源をどのように活用するか、今後の設計だと考える。しっくいも活動を通して地域の中で関係してきているが、医療と介護の現場など十分な担い手となる人が必要であると考えている。

(■…参加者の皆さんからのご意見・ご質問など      □…市長コメント)